

漁業管理組織調査と資源管理計画等との比較

漁業管理組織調査の調査項目		資源管理計画の記載事項等	漁場改善計画の記載事項等
I 11月1日現在の参加漁業経営体 1 管理組織に参加している漁業経営体数 管理組織に参加している漁業経営体（漁業を営んだ個人経営体及び事業所）数を把握。		・ 資源管理計画には「参加者名簿」が添付されることから、管理組織に参加している漁業経営体数を把握。	・ 漁場改善計画は、漁業協同組合等の区画漁業権を有するものが作成するものであることから、該当の漁業協同組合を把握。
2 管理を行っている漁業種類別経営体数 管理対象漁業種類（11区分）ごとに、参加した漁業経営体数を把握。		・ 計画書に記載される「計画名称」及び「資源管理目標及びそれを達成するための措置」（例：第4）並びに「参加者名簿」で、管理対象漁業種類別の漁業経営体数を概ね把握。 ＜例＞ 計画名称：「〇〇県◎△海域における刺し網漁業の資源管理計画」	・ 漁場改善計画は、漁業協同組合等の区画漁業権を有するものが作成するものであることから、漁業種類（海面養殖）と該当漁業協同組合を把握。
111 底びき網 （小型底びき網） 112 底びき網 （上記以外の底びき網） 113 船びき網 114 刺網 115 定置網	116 はえ縄 117 釣 118 採貝・採藻 119 その他の漁業 120 海面養殖業 121 漁業種類不特定		
3 参加漁業経営体がある地域範囲 漁業管理組織に参加している漁業経営体が所在する地理的範囲を4区分のうちいずれかで把握。		・ 計画書に記載される「目的」（例：第1）及び「対象海域」（例：第2）で、参加している漁業経営体が所在する地域的範囲を概ね把握。 ＜例＞ 対象海域：「〇〇県◎△海域（○●岬と◎□鼻を結ぶ線以北の本県海面）」	・ 計画書に記載される「対象となる水域」（例：1の(1)）で、参加している漁業経営体が所在する地域範囲を概ね把握。 ＜例＞ 対象水域：「〇〇県〇〇町〇〇岬先端と〇〇村〇〇岬先端とを結ぶ直線より陸側の海域」
・ 1 市区町村内 ・ 複数の市区町村内 ・ 各都道府県内の全域 ・ 複数の都道府県			

Ⅱ 漁業管理		・ 計画書に記載される「計画名称」、「対象資源」（例：第3）で、漁業管理を行ったすべての魚種を把握。 ＜例＞ 対象資源：「ヒラメ、カレイなどの底魚類」	・ 計画書に記載される「対象となる養殖水産動植物の種類」（例：1の(2)）で、漁業管理を行ったすべての魚種を把握。 ＜例＞ 養殖水産動植物の種類： 「ブリ類、マダイ、トラフグ、アコヤ貝（真珠養殖、真珠母貝養殖）、ノリ」
1 過去5年間のすべての管理対象魚種 過去5年間に自主的な漁業管理を行ったすべての魚種（35区分）を把握。			
201 かつお・まぐろ類	219 その他のえび類		
202 さけ・ます類	220 がざみ類		
203 さば類	221 その他のかに類		
204 ぶり類	222 あわび類		
205 ひらめ	223 さざえ		
206 かれい類	224 あさり類		
207 すけとうだら	225 ほたてがい		
208 はたはた	226 その他の貝類		
209 あなご	227 いか類		
210 はも	228 たこ類		
211 まだい	229 うに類		
212 その他のたい類	230 なまこ類		
213 さわら類	231 その他の水産動物類		
214 いかなご	232 こんぶ類		
215 ふぐ類	233 その他の海藻類		
216 その他の魚類	234 その他		
217 いせえび	235 魚種不特定		
218 くるまえび			

2 過去5年間に行った漁業管理の内容 (1) 漁業資源の管理や漁場の保全・管理の内容 過去5年間の通常の時期に行ったすべての管理内容（漁業資源の管理（4区分）、漁場の保全・管理（8区分））を把握。 <table><tr><td>漁業資源の管理</td><td>漁場の保全・管理</td></tr><tr><td>資源量の把握</td><td>漁場の保全</td></tr><tr><td>漁獲（収獲）枠の設定</td><td>うち、藻場・干潟の維持管理</td></tr><tr><td>漁業資源の増殖</td><td>うち、合成洗剤不使用の取組</td></tr><tr><td>その他</td><td>漁場の造成</td></tr><tr><td></td><td>漁場利用の取決め</td></tr><tr><td></td><td>漁場の監視</td></tr><tr><td></td><td>植樹活動、魚つき林の造成</td></tr><tr><td></td><td>その他</td></tr></table>	漁業資源の管理	漁場の保全・管理	資源量の把握	漁場の保全	漁獲（収獲）枠の設定	うち、藻場・干潟の維持管理	漁業資源の増殖	うち、合成洗剤不使用の取組	その他	漁場の造成		漁場利用の取決め		漁場の監視		植樹活動、魚つき林の造成		その他	・ 計画書に記載される「資源管理目標及びそれを達成するための措置」（例：第4）で、漁業資源の管理や漁場の保全・管理の内容を概ね把握。 <例> 「ヒラメ種苗の放流事業に積極的に参加し、資源の維持・増大に努める。」	・ 計画書に記載される「養殖漁場の改善を図るための措置及び実施時期」（例：3）で、漁業資源の管理や漁場の保全・管理の内容を概ね把握。 <例> 養殖漁場の改善を図るための措置： 「適正養殖可能数量（ハマチ養殖〇〇千尾など）」、「飼餌料の種類の制限」
漁業資源の管理	漁場の保全・管理																			
資源量の把握	漁場の保全																			
漁獲（収獲）枠の設定	うち、藻場・干潟の維持管理																			
漁業資源の増殖	うち、合成洗剤不使用の取組																			
その他	漁場の造成																			
	漁場利用の取決め																			
	漁場の監視																			
	植樹活動、魚つき林の造成																			
	その他																			

(2) 漁獲管理の規制内容 過去5年間の通常の時期に行ったすべての漁獲管理の規制内容（法制度による規制（11区分）、自主規制（11区分））を把握。 <table><tr><td>ア 法制度による規制</td><td>イ 自主規制</td></tr><tr><td>漁期の規制 漁法の規制 漁船隻数の規制 漁船総トン数・馬力数の規制 漁具の規制 出漁日数の規制 操業時間の規制 操業人員の規制 漁獲（収獲）サイズの規制 漁獲量（収獲量）の規制 その他</td><td>(同左)</td></tr></table>	ア 法制度による規制	イ 自主規制	漁期の規制 漁法の規制 漁船隻数の規制 漁船総トン数・馬力数の規制 漁具の規制 出漁日数の規制 操業時間の規制 操業人員の規制 漁獲（収獲）サイズの規制 漁獲量（収獲量）の規制 その他	(同左)	・ 計画書に記載される「資源管理目標及びそれを達成するための措置」（例：第4）で、漁獲管理の規制内容をすべて把握。 <例> 漁具規制：「自主的管理措置／網目拡大（○寸目以上）、公的管理措置／許可制限条件●寸以上」	・ 漁場改善計画のため、漁獲管理には該当しない。
ア 法制度による規制	イ 自主規制					
漁期の規制 漁法の規制 漁船隻数の規制 漁船総トン数・馬力数の規制 漁具の規制 出漁日数の規制 操業時間の規制 操業人員の規制 漁獲（収獲）サイズの規制 漁獲量（収獲量）の規制 その他	(同左)					
3 過去5年間に行った漁業管理に係る調整 過去5年間に行ったすべての漁業管理に係る調整（4区分）を把握。 ・ 管理組織内の漁業種類間の調整 ・ 漁協地区内の他の漁業種類との調整 ・ 他の漁協地区・市町村等の調整 ・ 遊漁との調整	・ 計画書に記載される「管理体制、資源管理遵守のための指導及び措置」（例：第6）で、漁業管理に係る調整を概ね把握。	・ 計画書に記載される「漁場の改善を推進していくための体制の整備」（例：4）で、漁業管理に係る調整を概ね把握。				

・ 調査項目は設定していない。	○「取組期間」 ○「計画の参加、脱退」 ○「計画の変更及び廃止」	○「養殖漁場の改善の目標」 ○「養殖漁場の改善を図るための措置及び実施時期」 ○「養殖漁場の改善を図るために必要な施設及び体制の整備」 ○「養殖漁場の調査手法に関する事項」等
---	--	--